

公開ワークショップ

「急激に変化する中国・長江流域の 人間活動と自然の相互作用」

日時：2008年10月31日（金）10:00～17:00

場所：名古屋大学高等総合研究館 6F カンファレンスホール

— 発表プログラム —

10:00	開会
10:00-10:30	「長江中流域の水資源、土地利用と対流性降水」（趣旨説明） 田中広樹（名古屋大）
10:30-11:30	「中国の農業と食料：新農政下の変貌と課題」（基調講演） 巖 善平（桃山学院大）
11:30-12:00	「中国での国際的な観測プロジェクト「AMY（アジアモンスーン観測年）」 および「MAIRS（モンスーンアジア統合地域研究）」の動向について」 松本 淳（首都大東京）
	<昼食>
13:00-13:30	「20世紀後半における中国大陸上での雲ならびに降水の長期変化」 遠藤伸彦（JAMSTEC）
13:30-14:00	「中国南部荒廃山地における水及び土砂の流出」 内田太郎（土木研）
14:00-14:30	「中国の持続可能な社会経済発展を目指した効率的な水利用のあり方」 大西暁生（名古屋大）
	<休憩>
15:00-15:30	「黄土高原南部における大気境界層と降水の日変化特性」 西川将典（名古屋大）
15:30-16:00	「中国大陸上の降水システムに対する地表面の影響」 山田広幸（JAMSTEC）
16:00-16:30	「水田・畑地の農事暦、灌漑を含む陸面過程モデルSiBUC」 田中賢治（京都大）
16:30-17:00	総合討論
17:00	閉会
18:00-	懇親会

* 本研究集会は、平成20年度 総合地球環境学研究所 一般共同研究「急激に変化する中国・長江流域の
人間活動と自然の相互作用」の活動として実施しています。